

大会名称：平成28年度
第46回関東中学校バスケットボール大会

開催場所: 船橋アリーナ Mコート

試合区分: No. 148 男子 決勝

期日: 2016(H28)年8月11日(木)

開始時間：14:50

終了時間: 16:05

互いに激戦を制して勝ち進み、東京代表校同士の顔合わせとなった関東大会決勝戦。立ち上がり、互いにドライブからシュートに持ち込もうとするが、堅いディフェンスによりなかなかシュートが決まらない。それでも互いにできたわずかなシュートチャンスを逃さず、3Pを決める。両チーム合わせて5本の3Pが決まるが、1Qは15-11とロースコアの展開となった。2Qに入ると実践学園のディフェンスが更に激しさを増す。ダブルチーム、ローションから、トラップを仕掛け梅丘にボールキープをさせない。梅丘もパスを回そうとするが、実践学園のディフェンスを突破することができない。梅丘はタイムアウトを取り、流れを変えようとするが、実践学園はスティールから#8渡部が果敢に攻め、一気に逆転をした。2Qは3-13と実践学園が主導権を握る展開となった。

東取に突き、一矢報復をした。これが1-1と実践学園が上等権を握る展開となった。後半、開始1分で梅丘が立て続けにシュートを決める。実践学園は早い段階でタイムアウトを取るが、梅丘#5結城が更に得点を重ね、梅丘が逆転をする。2Qとは打って変わって、梅丘が主導権を握る。対する実践学園は、#5海塚、#8渡部がドライブからゴールに何度も持ち込むが、梅丘#7木村、#15工藤が必死のブロックショットでゴールを割らせない。3Qは2Qとは逆の展開で、梅丘が15-3と強固なディフェンスを見せた。4Q、実践学園がルーズボールに対して飛びつき、必死のディフェンスを見せる。なかなか点差が詰まらない中、ラスト4分に取ったタイムアウトから、実践学園はオールコートプレスを仕掛け勝負に出る。互いに意地がぶつかり合う決勝戦。最後の1秒まで必死に戦い合うが、梅丘が逃げ切り、関東大会初の優勝を飾った。最後まで激闘を見てくれた両チームの全国大会での活躍が非常に楽しみである。